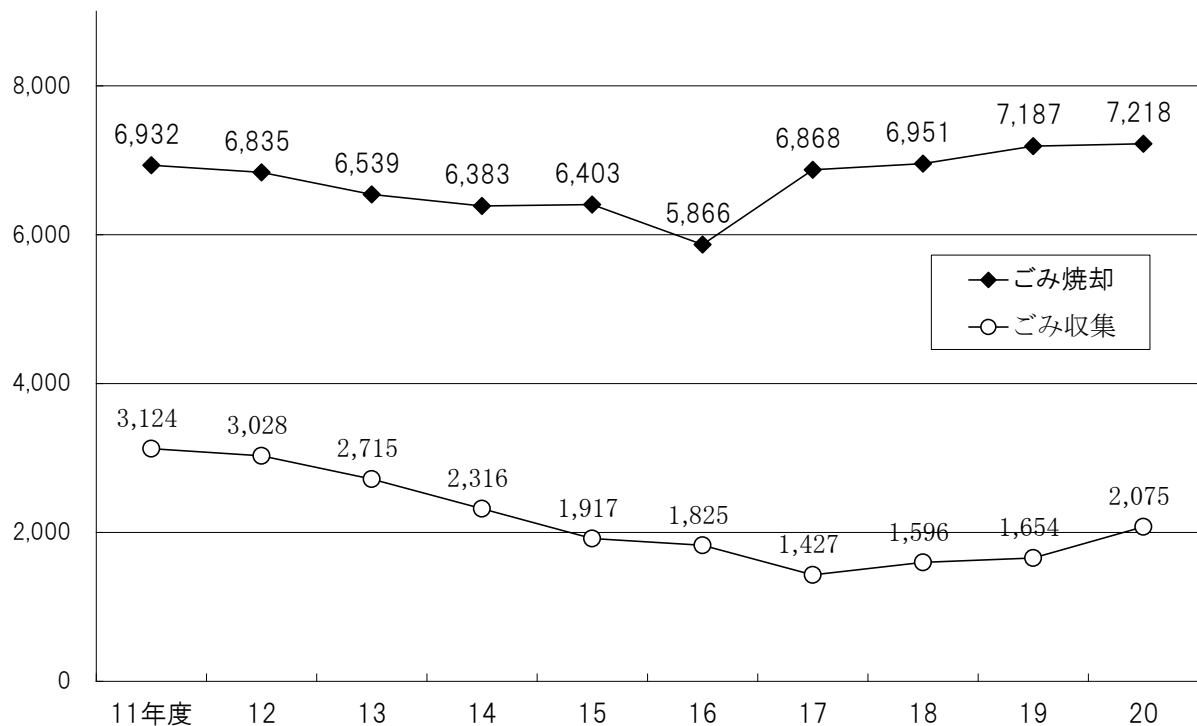


ごみ処理費用の推移について

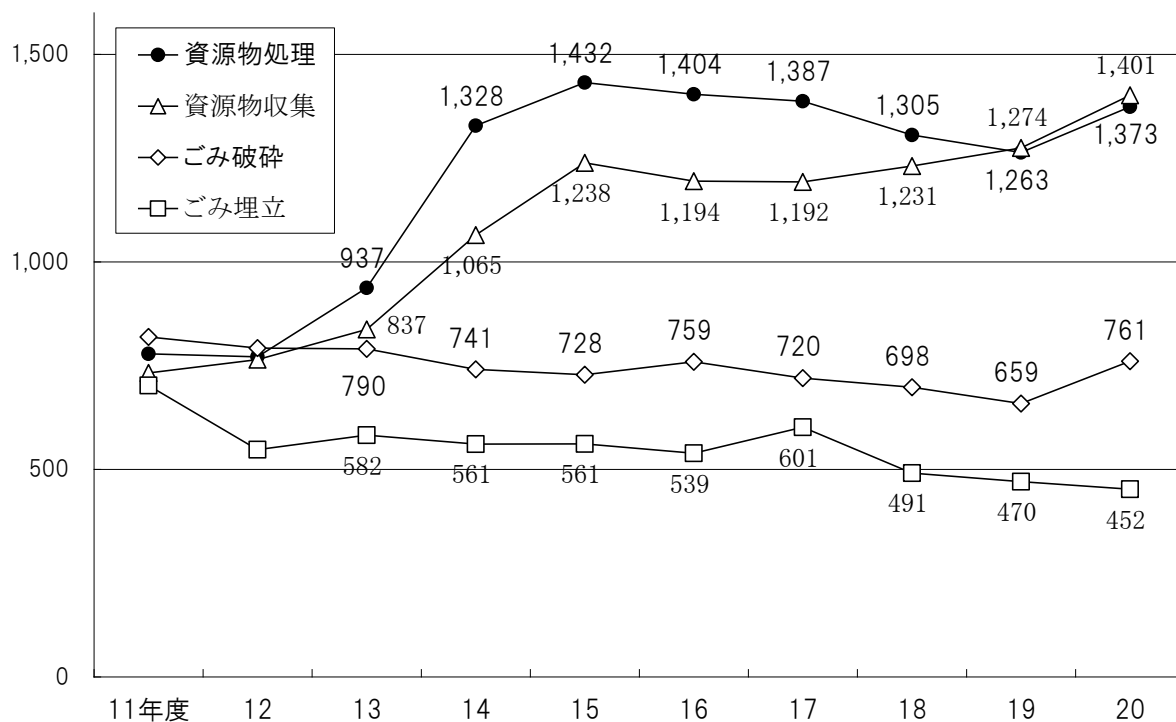
1. ごみ収集、ごみ焼却費用（単位：百万円）



※ごみ収集費用：家庭ごみ、粗大ごみ、臨時ごみ、地域清掃ごみ等収集費用

- ・平成 11 年度から収集業務を段階的に民間に委託したことにより、ごみ収集費用は漸減した。
- ・平成 16 年度の小鶴工場維持管理費用について、同工場が 16 年度末で廃止が決まっていたため前年度までと比べて費用が減少し、ごみ焼却費用が減少した。
- ・平成 17 年度に松森工場が稼動したことにより、ごみ焼却費用が増加した。
- ・平成 18 年度以降、松森工場の維持管理費が増加傾向のため、ごみ焼却費用が漸増した。
- ・平成 20 年度の家ごみ等有料化の実施により、有料化関連費用（有料指定袋製造・保管配送等）が家庭ごみ収集に係る費用として計上されたため、ごみ収集費用のうち家庭ごみ収集費用が増加した。

2. ごみ破碎, ごみ埋立, 資源物収集, 資源物処理費用 (単位: 百万円)



※資源物収集費用 : 缶・びん・ペットボトル等, プラスチック製容器包装, 紙類定期回収等収集費用

※資源物処理費用 : 缶・びん・ペットボトル等, プラスチック製容器包装等選別・資源化費用

・平成14年度にプラスチック製容器包装の分別収集を実施したことにより, 資源物収集費用及び資源物処理費用が増加した。

・平成17年度に延寿埋立処分場及び森郷埋立処分場の排水処理施設改修・更新工事等を実施したことにより, ごみ埋立費用が一時的に増加した。

・平成20年度に紙類定期回収を実施したことにより, 資源物収集費用が増加した。

・平成20年度に人件費の按分手法を変更したことにより, 今泉破碎処理施設の維持管理に係る人件費が増加し, ごみ破碎費用が増加した。